第3節　白石構内（白石遺跡）の調査

1．教育学部附属山口小学校渡り廊下設置工事に伴う立会調査

調査地区　白石構内幼稚園管理棟南西側

調査面積　約12㎡

調査期間　平成23年3月7日

調査担当　田畑直彦

調査結果　白石構内の教育学部附属幼稚園～附属山口小学校間に渡り廊下を設置する工事が計画された。掘削工事は渡り廊下の屋根の基礎を掘削するものである。過去の調査成果から附属山口小学校敷地の掘削箇所は旧地形が削平されており、埋蔵文化財が認められないことが明らかであったため[註1]、平成22年度第8回埋蔵文化財資料館専門委員会（平成23年1月17日開催メール審議）において、附属幼稚園敷地を対象として立会調査を実施することになった。掘削は5箇所で行われ、現地表下から約70㎝まで掘削が行われたが、既設の雨水管ルートと重複していたこともあり、埋土は全て造成土であった。ただし、埋土に旧水田耕土・床土を含むことから、調査区周辺では埋蔵文化財が遺存する可能性がある。このため、今後も引き続き埋蔵文化財の保護に注意を払う必要がある。

図30　調査区位置図

写真48　調査区全景（北西から）

【註】

1）河村吉行（1992）「付篇Ⅱ　山口大学構内の埋蔵文化財の分布」,山口大学埋蔵文化財資料館（編）『山口大学構内遺跡調査研究年報Ⅹ』,山口